

教員氏名	内田 将平	職位	助教
最終学歴	名古屋市立大学大学院人間文化研究科博士前期課程修了		
学位	修士（人間文化）		
役職		委員会	連合教務委員会、教職課程委員会、共通教育委員会、ゼミ委員会
担当科目	教育の方法／教育課程論／多文化共生保育・教育論／海外の保育／海外幼児教育インターンシップ（ニュージーランド）／教育実習Ⅰ・教育実習指導Ⅰ（幼稚園）／保幼小連携総論／教職実践演習（幼小）／基礎演習Ⅰ・Ⅱ／総合演習ⅡA・B／卒業研究演習Ⅰ・Ⅱ		
教科書・教材・教育方法の実践例	1. Microsoft社の「Teams」を用いたオンライン講義 2. eラーニングプラットフォーム「Moodle」の活用		
教育研究業績	<p>※過去5年間</p> <p>【論文】</p> <p>1. UCHIDA, Shohei (2024). How Do German ECEC Teachers Understand the National Curriculum? 『桜花学園大学保育学部研究紀要』第29号, pp. 37-48.</p> <p>2. 内田将平 (2022) 「ドイツ初等教育「事実教授」におけるコンピテンシーの育成—ノルトライン・ヴェストファーレン州2021年版学習指導要領に着目して—」 『桜花学園大学保育学部研究紀要』第26号, pp. 25-34.</p> <p>3. 内田将平 (2020) 「現代ドイツの幼児期のカリキュラムにおける自己形成アプローチの意義—ノルトライン・ヴェストファーレン州2003年版・2016年版の検討を通して—」 国際幼児教育学会編『国際幼児教育研究』Vol. 27, pp. 105-122 (査読あり)。</p> <p>【学会発表】</p> <p>1. UCHIDA, Shohei (2024). A Place for “us” to Be Weaved: A Case Study of Zainichi Korean Kindergarten in Japan. The Korean Conference on Education 2024, Inchon, <i>Official Conference Proceedings</i>, pp. 529-539.</p> <p>2. UCHIDA, Shohei (2023). How Kindergarten Teacher Acquire the Responsibility? : Focusing on Zainichi Korean Kindergarten in Japan. The 44th Annual Conference of International Association of Early Childhood Education, Thailand. <i>Abstract book</i>, pp.73-76.</p> <p>3. UCHIDA, Shohei (2021). Aesthetic <i>Bildung</i> of Gerd. E. Schäfer : A Pedagogical Significance of the Experience of the Pathos in ECEC. The 42nd Annual</p>		

	<p>Conference of the International Association of Early Childhood Education, <i>Abstract book</i>, pp.159-162.</p> <p>【その他】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 内田将平（2025）「戦争と幼児教育——アウシュヴィッツ解放 80 年に寄せて」『幼児教育史学会第 39 号会報』印刷中（招待あり）。 2. 内田将平（2025）「保育学生は『多文化共生』をどのように捉えようとしているのか：名古屋朝鮮初級学校付属幼稚園との交流を通して」『チャイルドエデュケア研究所 年報』第 22 号、p. 5-6。 3. 内田将平・孔順南（2024）「朝鮮幼稚園における食育の取り組み：民族的アイデンティティの形成に向けて」『チャイルドエデュケア研究所 年報』第 21 号、p. 5-6。 4. 内田将平（2024）「ドイツ語圏における幼児教育の理論と実践の往還」『国際幼児教育学会会報第 78 号』p. 10。（招待あり）。 5. 内田将平（2022）「広島大学附属幼稚園 園紹介 VTR のドイツ語字幕作成」（依頼あり）。 6. 中坪史典・山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹編（2021）『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』ミネルヴァ書房（分担執筆）。 7. 内田将平（2021）「ドイツにおける保育の現状と質の維持について：乳児保育の視点から—ドイツのコロナ禍の保育について—」『日本保育学会第 181 号会報』p. 4-5（招待あり）。 8. 内田将平（2021）「歴史研究の責務を実感」『幼児教育史学会第 31 号会報』p. 5-6（招待あり）。
<p>所属学会</p>	<p>日本教育学会／日本保育学会／日本教育方法学会／教育哲学会／日本乳幼児教育学会／国際幼児教育学会／幼児教育史学会／中部教育学会</p>